

マレリのお客様向けのよくある質問

1. **マレリは、なぜ今この措置を講じているのですか？ どのような経緯によるものか？**
 - マレリは、困難な状況を乗り切るために、財務体質を強化するための対策を講じてきました。
 - 業界全体に影響を与える市場の圧力が、弊社の運転資本を逼迫させており、当分の間、より広範な経済的不確実性が継続することが予想されます。
 - (日本の民事再生法に相当する)米国連邦破産法第 11 章の手続を利用することは、弊社のモメンタムを高め、負債を株式に換えることでバランスシートの健全性を向上させるための戦略的な一歩となるとともに、弊社の業務を通常通り継続することも可能になります。
2. **米国連邦破産法第 11 章(チャプター11)の適用を申請するとはどういう意味ですか？**
 - 米国において、企業は自発的に米国連邦破産法第 11 条(チャプター11)による保護の適用を申請し、通常の事業運営を継続しながら、裁判所の監督下でのプロセスを通じて長期の負債を再編することができます。
 - 一般に、米国連邦破産法第 11 章(チャプター11)は、企業に「一息つく時間」を与えることで、債権者やその他のステークホルダーと財務再編の条件について合意し、長期的事業計画の完成を可能にします。
 - このプロセスの主な目的は、会社が事業を運営する上で、または戦略的に今後の方向性を模索するために必要な時間を確保しながら、事業の安定性を維持することです。
 - つまり、この再建中であっても、業務は通常通り継続される見込みです。
3. **マレリは、なぜ米国連邦破産法第 11 章(チャプター11)の適用を申請したのですか？**
 - 米国連邦破産法第 11 章(チャプター11)の適用申請によって、マレリは、従業員の給与支払いやサプライヤー様への支払い、お客様へのサービス提供など、通常通りの業務を継続するために必要な裁判所からの保護を受けることが可能になります。
 - 裁判所の監督下で行われるこのプロセスにより、最終的には持続可能な資本構造と、弊社のイノベーション・パイプラインへの投資を継続するためのより高い財務的柔軟性を創出することが可能になります。
4. **マレリは日本とイタリアに拠点があります。なぜ米国で倒産手続を申請するのですか？**
 - マレリは日本とイタリアに本社を置いていますが、多数の国で事業を展開している国際企業であり、マレリの負債を再編するにあたり米国の裁判所を利用する柔軟性を備えています。
 - 米国は、世界で最も洗練された透明性の高い再編の枠組みを提供しています。
 - 米国で連邦破産法第 11 章(チャプター11)の適用を申請することで、この再建を完了するにあたり、弊社の全世界のすべての企業体にとって重要な法的および財務的保護が確保されることになります。
 - 弊社は、弊社が事業を展開するすべての国の公的機関の職員と緊密に連携することを約束し、引き続き現地のすべての規制とプロセスを遵守します。
5. **マレリには、このプロセスの期間を通じて事業を継続するだけの十分な資金がありますか？**
 - はい。裁判所の監督下で行われる手続に関連して、マレリは、金融債権者から約 11 億米ドルの DIP ファイナンス(debtor-in-possession financing)の融資の確約を取り付けました。
 - この資金注入は、弊社の継続的な事業活動から得られるキャッシュとともに、再建プロセス全体を通じて現在の全事業活動を支えるのに十分な資金流動性を提供できると見込まれています。

6. 再建を完了するにはどのくらいの期間がかかると予想されますか？

- 再建支援契約は包括的な負債削減に関する取引を規定しており、これにより、45 日間の追加入札プロセスを条件として、弊社の金融債権者がマレリ社の所有権を得る可能性が高いものと見込まれます。
- 弊社はこの手続を迅速に進めるために可能なあらゆる手段を講じており、この取引の全当事者は、米国連邦破産法第 11 章の手続の速やかな完了に向けて尽力しています。弊社は、今後、進捗状況に応じて最新情報をお知らせいたします。

7. このプロセス中、現在の経営陣は存続するのですか？

- 弊社は現在の経営陣の下で継続され、お客様のマレリとの関係が変化することは想定されておりません。

8. このプロセスは、顧客にとって何を意味するのでしょうか？

- このプロセスは、弊社が事業を強化し、より良いパートナーとなる機会をもたらします。
- この申請が弊社事業や弊社がお客様に提供するサービスに影響が生じることはありません。マレリは通常通りご注文を履行します。
- このプロセスの結果、連絡先や請求方法、その他のサポートプロセスなどを含む弊社のお客様との関係に変更が生じることはありません。
- 裁判所の監督下で行われるこのプロセスにより、最終的には持続可能な資本構造と、弊社のイノベーション・パイプラインへの投資を継続するためのより高い財務的柔軟性が創出されるようになります。

9. マレリは現在でも注文を履行しているのですか？

- はい、履行しています。弊社は、このプロセスを通して通常通り業務を継続し、通常の条件でご注文を履行させていただく予定です。
- 連絡先や請求方法、その他のサポートプロセスなどを含む弊社のお客様との関係に変更が生じることはありません。

10. まだ新規の注文を発注できますか？

- はい、発注いただけます。弊社は積極的に受注し、ご注文を履行しています。
- 連絡先や請求方法、その他のサポートプロセスなどを含む弊社のお客様との関係に変更が生じることはありません。
- 弊社の営業チームとカスタマーサービスチームは、引き続きお客様のご要望にお応えします。

11. 供給の混乱を心配すべきでしょうか？

- いいえ。弊社はサプライヤー様と緊密に連携しており、このプロセスを通して通常通り業務を継続する予定です。
- 米国連邦破産法第 11 章の手続は日常業務を通常通り継続することを奨励するものであり、今回の申請が、お客様に対して弊社が行う業務に支障をきたすことは想定されておりません。

12. 製品の在庫状況や納品のスケジュールに影響はありますか？

- 弊社では、この申請手続きにより、納期を含め、お客様に対する業務に一時的な支障が生じないよう万全を期しております。
- 個別のご注文に関する情報をお求めの場合は、弊社の通常の担当者にお問い合わせください。

13. カスタマーサービスは引き続き利用できますか？ 質問がある場合、誰に連絡すればいいですか？

- もちろん可能です。弊社のカスタマーサービスチームは、経営再建プロセス中もお客様のあらゆるお問い合わせやご懸念に積極的に対応することをお約束いたします。
- ご不明な点がございましたら、通常の連絡先担当者にお問い合わせください。
- 裁判所の監督下での手続きに関する追加情報は、こちらでご覧いただけます [挿入]。

14. なぜ今後もマレリと取引を続けるべきなのでしょう。

- 弊社は米国連邦破産法第 11 章(チャプター11)の手続中も、通常通り業務を継続し、お客様にサービスを提供し続ける見込みであるため、それによって弊社が事業を強化し、将来的にお客様により優れたサービスを提供する機会がもたらされることについてご理解賜りたく存じます。
- 連絡先や請求方法、その他のサポートプロセスなどを含む弊社のお客様との関係に変更が生じることはありません。マレリは通常通り業務を継続します。
- 弊社はお客様との関係と継続的な取り組みを重視しており、お客様のどのようなご質問にも誠意を持ってお答えいたします。

15. 郵便で「Notice of Commencement(手続開始通知)」とよばれる法的文書を受け取りました。なぜ、これらの文書が送付されたのですか？何か私の側で必要なアクションがありますか？

- 米国連邦破産法第 11 章(チャプター11)に基づく手続において、米国裁判所はマレリに、一定の法的通知を同社の幅広いステークホルダーに送付することを義務付けています。
- これには、現在の従業員、元従業員、お客様、サプライヤー様、その他のステークホルダーなど、さまざまな個人や法人が含まれます。
- これらの郵便物は慣例による通知で、米国連邦破産法第 11 章の適用を関係当事者に通知するという情報提供を目的とするものであるため、お客様の側で必要なアクションはありません。